

みずほっと



■ 編集・発行 / 社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会 ■ webサイト / www.mizuho-shakyo.jp



赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました!



令和2年度 最終実績額 **7,024,201円**

一般募金 **6,763,738円** 歳末たすけあい募金 **260,463円**

今年度は、街頭募金やバザーなどの各種イベントが例年のように開催できない厳しい状況でしたが、コロナ禍でもできる方法に取り組み、多くの方にご協力いただくことができました。集まった募金は来年度、約70%を瑞穂区、約30%を愛知県の地域福祉に活用させていただきます。

コロナ禍の取り組み

① パロマ瑞穂スタジアムでブース出展をしました!

名古屋グランパス様にご協力いただき、10月24日(土)、11月28日(土)に募金活動を行いました。今年度は3密対策として、職員のみで参加し、会場に来場した皆さまより2日間で約25万円の協力をいただきました。



©N.G.E.

200円以上募金
いただいた方には、
瑞穂区オリジナルの
グランパスとの
コラボ缶バッジを
プレゼントしました!

コロナ禍の取り組み

② インターネットを活用した募金方法をPRしました!



コロナ禍で直接募金することが難しい方にもご協力いただけるよう、共同募金の各種チラシやホームページにQRコードを記載しました。

オンラインで寄付ができることもあり、この方法でご協力いただける方も増えています。

<https://hanett.akaihan.or.jp/hanett/pub/homeTown?data.jisCd=23108>

歳末たすけあい

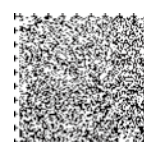


知っていますか? 歳末たすけあい募金と使い道



歳末たすけあい募金運動は赤い羽根共同募金の一環で、新たな年を迎える時期に地域の誰もが孤立することなく安心して暮らせるよう支援することを目的に毎年12月1日~31日に行われています。

瑞穂区では、高齢の方などが清潔な寝具で新年を迎えていただくための「寝具クリーニングサービス事業」や障がい者団体のクリスマス会等交流行事の支援に活用されています。



「誰一人取り残さない」地域共生社会とSDGs

with コロナ時代に求められるのは、SDGsでも掲げている「誰一人取り残さない」とだと思います。

コロナ禍の影響により、多くの社会・経済活動が停止したことで、高齢者等の閉じこもりや、子どもの心身への影響、減収や失業による生活困窮状態の方の増加など、新たな課題が発生し「ふだんのくらし」が失われつつあります。また、「新しい生活様式」で、つながりづくりを進めるには、どうすればいいのか。気かけながら過ごしてきた方々も多いと思います。

今こそ、コロナ禍の状況を契機として、さらなる地域共生社会実現のための地域づくりの推進が求められ、地域一体「ALL MIZUHO」となって乗り越えることが必要です。

本誌に紹介する瑞穂区内の地域福祉の取組みだけでなく、コロナ禍でもつながりを保つ知恵と創意工夫を区内住民・関係機関・企業の皆さんと共に検討するきっかけになれば幸いです。

本会は、地域の実情にあった活動を皆さんと一緒に支えていきます。活動に関する相談や気にかけている人への支援方法など何でもお問い合わせください。



事務局長／平坂義則

想いを
「か・た・ち」に!!
か おを合わせる
た いせつな
ち いきのなかまと

SDGsとは

持続可能な開発目標で、2030年までに国際社会全体が目指すべき17の目標と169のターゲットが設定されています。SDGsの「誰一人取り残さない」という目標は、2025年までの瑞穂区地域福祉活動基本方針「人と人とのつながりを、地域の支えあいの力に変え、孤立を防ぐ仕組みづくり」と同じ目標となっています。

詳細は、名古屋市ウェブサイト普及啓発冊子「SDGsってなに?」をご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



瑞穂区内企業からの寄付

ブラザー販売株式会社様より、区内の子ども食堂で活用してもらいたいと、レトルト食品と手作りマスクのご寄付をいただきました。幼児から小学校高学年用のサイズがあり、コロナ禍に手作りマスクを通じてあたたかい思いをいただきました。ありがとうございます。



レトルト食品



手作りマスク



瑞穂児童館

4、5月の閉館中は、「おうちでやってみよう」チラシの配架やホームページを通じて遊びの情報を発信しました。6月から制限を受けながらの開館となりましたが、感染予防対策を行いながら、子育て支援、留守家庭児童クラブ、中高生の学習支援や居場所作り、クリスマス会やハロウィーンなどの行事などを行いました。



名古屋女子大学との共催:クリスマス会



小学生のハロウィーン行事

学区ふれあい給食サービス

地域福祉推進協議会が会食方式で行っているふれあい給食サービスを、コロナ禍の中でも安全にできるよう配食やお持ち帰りにして実施する学区が増えました。また、他学区も安全に活動できる方法を常に考え活動しています。



弥富学区配食活動

瑞穂ほっこりサロン

地域の皆さまの集いの場として、感染症対策を行ったうえで毎月第2・4水曜日に時間を短縮し、開催を継続しました。

また、月1回お弁当を用意し、お持ち帰りにすることで、サロン参加者の外出する機会を作り、身体機能低下防止や見守り活動につなげています。



スカットボールゲーム



お弁当にサンタの折り紙をつけました!

名古屋市はつらつ長寿推進事業 コスモス

散歩を楽しむ会

コスモスのお仲間同士、野外での活動として山崎川周辺を散策したり、ウォークラリーを行ったりと、楽しみながら外出できる目的を作りました。



山崎川散歩

コスモス文通クラブ

ご自宅に居ながら誰かと交流できれば…そんな思いからコスモス文通クラブを始めました。相手を思いながら、自分の言葉を書き記す…お返事を待つ時間もワクワク☆いつも文通を楽しみにしているとメンバーから聞きます。



ペンネームで文通

オンラインサロン

ダンディ瑞穂会は3密を避けること、zoom体験を目的に、本年度は区内3会場、区外1会場をつないでクリスマス会を行いました。

総勢50名が体操やバイオリン演奏、ビンゴ大会を楽しみました。



南新聞荘集会所 会場

学生ボランティアのご協力

瑞穂区デイサービスセンターでは、愛知教育大学・落語研究会にご出演いただき、オンライン落語会を行いました。利用者の皆さんは、初めてのオンライン体験をし、学生さんの落語に笑いがあふれていました。



スクリーン画面を通して交流

おうち時間でボランティア

はつらつ長寿推進事業コスモスと瑞穂福祉会館の共同事業として、コスモス参加者や福祉会館で養成した「認知症予防リーダー」に対し、コロナ禍でもできるボランティア活動と呼びかけました。

- ① 寄付のガーゼを使用してがん患者さん用の帽子を手作りし、約600枚のガーゼ帽子を「NPO法人ミーネット」へ寄付しました。
- ② 抗がん剤治療中の方に手編み帽子を送る「ボランティア団体スマイル中部支部」の活動に協力し、愛知県がんセンター他、6病院へ計200枚の毛糸帽子を寄付しました。
(令和2年12月4日中日新聞市民版に掲載。)



①NPO法人ミーネットへ寄付



②愛知県がんセンターへ寄付

瑞穂福祉会館

玄関前にプリント・チラシ等を配架

おうち時間に作品づくりや健康づくりをしていただけるよう、脳トレ・体操のプリントや、「おうちで折り紙サロン」、「おうちで切り絵サロン」を用意しました。



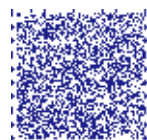
玄関前

「オンライン☆作品展」の実施

市内在住60歳以上の方を対象に、「おうち時間中」(自粛期間中)に制作した作品の写真を募集しました。現在ホームページにて、6部門、63作品を掲載中です。



ホームページ画面



高田学区

学区探訪 Vol.2

ウォーキングイベント開催!

11月22日(日)秋の清々しい空気の中ウォーキングイベントが開催されました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で毎年開催されている三世代交流事業がありませんでした。ウォーキングはその代替イベントで学区推進協をはじめ子ども会やスポーツ委員、地域の高齢者など三世代交流事業にと同様に様々な世代の方が参加されました。

豆田公園を発着地点とし、高田学区の街並みや瑞穂区ゆかりの杉原千畝氏の功績を顕彰する「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」を散策するコースでした。感染予防のため検温と手指消毒、マスクの着用を徹底し、参加者を4つのグループに分け密にならないよう歩きました。いつもと違う交流イベントでしたが参加者からは「楽しかった。」という声もきかれコロナ禍の中の貴重な地域住民間のふれあいの機会となったようです。



▲ウォーキングコースマップ



▲子どもから高齢者まで多世代が参加しました



▲杉原千畝氏は旧制愛知県立第五中学校(現在の愛知県立瑞穂高等学校)の卒業生でこの広場は瑞穂高校前にあります。

フレ！愛サロン

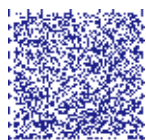
ほのぼのレポート(其の二十七)

瑞穂区では、地域の方が気軽に集まれる“たまり場づくり”『ふれあい・いきいきサロン活動』が盛んです。今回は…

瑞穂区ふれあい・いきいきサロン実践者研修会を開催いたしました!!

令和2年12月21日(月)瑞穂区役所講堂にて瑞穂区内のサロン運営者様を対象とした「令和2年度瑞穂区ふれあい・いきいきサロン実践者研修会」を開催いたしました。講師には、あま市レクリエーション協会会長の木全克己先生をお迎えし、「コロナ禍から創る新しいサロンの在り方」と題してコロナ禍でも実行できるレクリエーションや今やるべき事、やれる事について学びました。

今現在、瑞穂区内で開催できているサロンは約4分の1程度、緊急事態宣言発令時には不要不急の外出自粛ということで、サロンのほとんどが休止となります。そんな中、サロン活動への士気が低下したり、“今やるべき事は何か”を悩む運営者の方も多くいらっしゃいます。今回の木全先生の講義を受けて、今やる事をやって前に進もう!そんな気持ちにさせていただきました。



お問い合わせ 瑞穂区社会福祉協議会
電話:841-4063 担当:奥坂

参加者からの声

- ・できることのイメージが深まった。
- ・サロン再開にあたって何をしたらよいのか分からなかったが、3密を避け、注意しながら「やるべき事をやる」という内容がとても参考になった。



▲研修会の様子 ソーシャルディスタンスを守って行いました。

令和3年度 上半期 家族支援事業のご案内

いきいき支援センターは認知症の人やそのご家族を支援します

家族サロン

対象 認知症の人を介護しているご家族・介護の経験のある方など

認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩み（たまにはグチも…）を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただけるようお手伝いいたします。



東部では、家族サロン参加者と文通を行っています。家族サロンを卒業された方とも文通を行い、つながりを大事にしています。



西部では、家族サロンの参加がきっかけとなり、今では地域のサロンで講師として活躍されている方もいます！

東部会場 13時～15時	西部会場 13時30分～15時30分
4月7日 水	4月22日 木
5月12日 水	5月27日 木
6月2日 水	6月24日 木
7月7日 水	7月29日 木
8月4日 水	8月26日 木
9月1日 水	9月30日 木

認知症家族教室

対象 認知症の人を介護しているご家族

※第2回は13時30分～15時30分

認知症の人を介護しているご家族は、いろいろと不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流をととして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

	東部会場 10時～12時※	西部会場 13時30分～15時30分
1 ようこそ家族教室へ	4月9日 金	4月20日 火
2 認知症について正しく理解しよう	5月14日 金	5月18日 火
3 介護の体験を聴こう	6月11日 金	6月15日 火
4 認知症の人への関わり方を学ぼう	7月9日 金	7月20日 火
5 いろいろな制度について知ろう	8月13日 金	8月17日 火

もの忘れ相談医による専門相談

対象 もの忘れが気になる方やそのご家族

もの忘れ相談医とは、認知症診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了した、地域の専門の医師のことです。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。



東部会場 13時30分～15時00分	西部会場 13時30分～15時00分
4月8日 木	4月28日 水
5月13日 木	5月26日 水
6月10日 木	6月23日 水
7月8日 木	7月28日 水
8月12日 木	8月25日 水
9月9日 木	9月22日 水

すべてのお問い合わせ先、申込先

担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

瑞穂区東部
いきいき支援センター
電話:858-4008 FAX:842-8122

瑞穂区東部
いきいき支援センター分室
電話:851-0400 FAX:851-0410

担当地域 御劔・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

瑞穂区西部
いきいき支援センター
電話:872-1705 FAX:872-1707

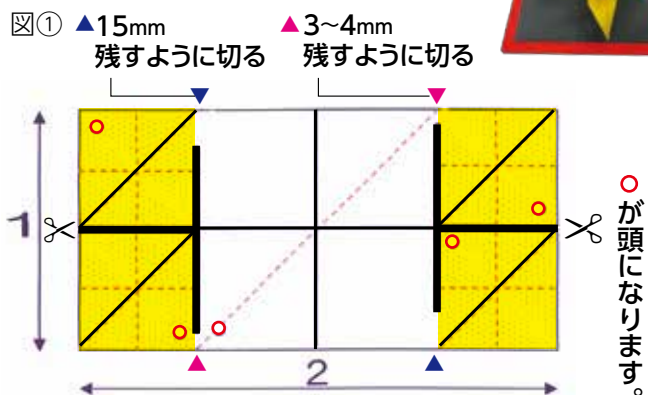


※新型コロナウイルス感染症の状況により、事業を中止する場合がございます。予めご了承ください。

名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業(愛称:コスモス) 折り紙講座 **PART2**

親子鶴

作品難易度 ★★★☆☆



①正方形の折り紙を半分に切り、図①のように、赤の点線部分……を谷折り、黒の直線部分——を山折りし、太線部分——に切込みを入れます。

②左のようになったら、鶴を折る順は、親からでも子どもからでもかまいません。折りやすい方法を探してください。

※必ず折り線をきれいに付けてください。普通の折り紙でも折れますが、和紙のほうが破れにくく折りやすいです。



折れたあなたは
折り紙上級者！

コスモス制作ボランティア講師
石黒 嗣章先生 監修

活動内容

介護・認知症予防と仲間づくり・社会参加を目的として、レクリエーション・健康体操など様々なプログラムを実施しています。

【参加期間】 ①上半期[4月～9月] ②下半期[10月～3月]

【対象者】 名古屋市在住の65歳以上の方

【定員】 各会場20名程度(応募者多数の場合は抽選)

※新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止、又は内容が変更になる場合があります。

ボランティアさん
募集中!!

【会場】	10:00～12:00	13:30～15:30
月曜日	陽明コミセン	在宅サービスセンター
火曜日	弥富コミセン	井戸田コミセン
水曜日	仁所公民館	御劔コミセン
木曜日	穂波コミセン	南新開荘集会所

コスモスについてご興味のある方は
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 瑞穂区社会福祉協議会 担当: 木村、井本 電話: 841-4063

令和2年度 瑞穂区社会福祉協議会 賛助会費 経過報告

今年度も、多くの地域住民の皆さま・法人の皆さまの
温かいご協力に、心より感謝申し上げます。



総額 **3,745,000円**
《個人》 3,264,000円
《法人》 481,000円
(令和3年2月末現在)

各学区で集められた賛助会費の9割額は、来年度の地域福祉活動の財源として学区に還元されます。残りの賛助会費については、第4次瑞穂区地域福祉活動計画に基づいた取組みや事業広報・啓発などの財源として、有効に活用させていただく予定です。
今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

HOTな
きもち



本会にご寄付
いただき、ありがとう
ございました。

(令和2年9月1日～令和3年2月末)

寄付
物品

ブラザー販売株式会社 様

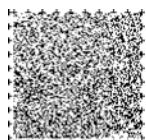
こども用マスク・レトルト食品

区内子ども食堂にて
配布させていただきました。
ご協力ありがとうございました。



瑞穂福祉会館のホームページが
新しくなりました!
スマートフォン・タブレット端末で
もご覧いただけます。

【オンライン☆作品展】
開催中!!



編集・発行

社会福祉法人

名古屋市瑞穂区社会福祉協議会

〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地

最寄駅: 地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅下車
徒歩5分(区役所東方向)

電話: 052-841-4063

FAX: 052-841-4080

webサイト www.mizuho-shakyo.jp

メールアドレス mail@mizuho-shakyo.jp

